

(別紙)
スケジュール

人権ディフェンダーになるための3日間集中プログラム<ユース向け>ユース世代のリアルから学ぶ『特権性』『マイクロアグレッション』、
そして『行動する傍観者(アクティブバイスタンダー)』へ

日程	12月12日(土)	12月13日(日)	12月20日(日)
スケジュール	01 レクチャー・ワークショップ 人権の基礎を学ぶ	02 フィールドワーク・ワークショップ 当事者やコミュニティの現場から 日常に潜む偏見やマジョリティ側の視点に気づく	03 フィールドワーク・ワークショップ 現場から構造的課題を学ぶ 人権課題と行動計画
	オリエンテーション 10:00～10:15		
	プログラム① 10:15～10:30 (レクチャー)	プログラム③ 10:00～13:00 (ワークショップ)	プログラム⑤ 10:00～13:00 (フィールドワーク)
	人権とは何か	当事者の力強さ(レジリエンス)を体感する	支援の現場のリアルを知る
	(公財) 東京都人権啓発センター専門員	大藪順子(フォトジャーナリスト) STAND Still	高橋 亜美 (アフターケア相談所「ゆずりは」責任者)
	安全な学習環境を守るためのルールの確認とアイスブレイクを行った後、人権の基礎知識、人権ディフェンダーとは何かを学びます。	ユース世代が最も被害に遭いやすい深刻な人権侵害の一つである「性暴力」についてフォト・ボイス(写真を用いた表現活動)の手法を通して学びます。またサバイバー当事者との交流から、傷つきから立ち上がる当事者の力強さ(レジリエンス)を体感し、言葉を超えた写真表現を媒介にすることで、「被害者/支援者」という分断を乗り越え、尊厳を守り合うアライ(連帯者)としての視点を育みます。	児童養護施設や里親家庭を出たあとの子どもや若者などを支援する「アフターケア相談所」を運営してきた高橋さんが、新たに開設した“集いの場”「ながれる」を訪問し、きれいごとだけでは済まない「支援の現場のリアル」についてお話を聞きます。「支援する側/される側」という非対称な関係性が孕む構造的課題を学び、客観的に自身の「特権性」を自覚します。
	プログラム② 10:30～17:00 (ワークショップ)	プログラム④ 14:30～17:00 (フィールドワーク)	プログラム⑥ 14:30～17:00 (ワークショップ)
	自分自身を見つめ、自らのバイアスに気づく	多様性を尊重するためにできることを「現場」で学ぶ	権利を守るために行動する
	栗本敦子 (ワークショップファシリテーター)	長村さと子 (一社) ことまっぷ共同代表)	(公財) 東京都人権啓発センター専門員
	人権に関する知識のインプットにとどまらず、自分自身を見つめ、自らのバイアスに気づくためのワークショップをとおして、自身の「特権性」や日常の「マイクロアグレッション」を深く内省し、「アクティブバイスタンダー」としてどのように行動していくかを体感的に理解します。	「どんな性のあり方の人でも安心して集える場所」として新宿二丁目に立地する足湯カフェ「どん浴」を訪問します。経営者の長村さんの案内による新宿二丁目のフィールドワークを通じ、この地域が単なる歓楽街ではなく、社会的排除やマジョリティ中心の構造に直面してきた当事者にとって、生活と尊厳を守るための「安全な居場所(セーフスペース)」として機能してきた歴史的・社会的背景を学ぶとともに、性の多様性をめぐる課題を統計や記号としてではなく、個人の生活や生存に直面する権利の問題として捉え直す機会します。	3日間を振り返りながら、自分の身の回りのできることや目標を整理し、気づきを行動につなげるための行動計画を作成します。
会場	東京都人権プラザ	東京都人権プラザ 足湯cafe&bar どん浴	東京都人権プラザ

講師

- ・栗本敦子(ワークショップファシリテーター)
- ・大藪順子(フォトジャーナリスト)、STAND Still
- ・長村さと子(一社) ことまっぷ共同代表)
- ・高橋 亜美(社会福祉法人「子供の家」アフターケア相談所「ゆずりは」責任者)

グラウンドルール(参加に当たっての約束・注意事項)

- ①「安全・安心」皆さんの安全に最大限配慮してプログラムを行います。心配なことがあればいつでもスタッフに相談できます。
- ②「プライバシー」プログラムで知り得たお互いのプライバシーは口外しません。また参加に際して本名を名乗る必要はありません。好きな名前で参加できます。
- ③「傾聴」相手の話を遮らずに最後まで聞きます。お互いを尊重し、相手を否定しません。
- ④「無理をしない」あなたの状況について、他の人に無理に話す必要はありません。途中で気分が悪くなった場合はいつでも退出・休憩できます。
- ⑤「差別を許さない」ジェンダー・人種・年齢等に基づく差別的な発言や行動は許容しません。問題のある場合は退場していただきます。
- ⑥「撮影禁止」録画、録音、撮影は禁止します。主催者も、皆さんに無断で録画、録音、撮影は行いません。